

第1回G7-U7都市サミットの開催結果について

6月9日に第1回G7-U7都市サミットがWEBで開催され、小林 横浜市副市長（横浜市長代理）が出席し、ディスカッションするとともに、共同宣言を取りまとめました。

1 第1回G7-U7都市サミットの概要（開催経緯）及び参加者

英国で開催されるG7（6月11日～13日）に合わせ、コア・シティーズUK（英国の大都市で構成される公式組織）が主催者となり、初開催する会議です。G7加盟国の自治体代表で構成され、指定都市市長会会長を務める横浜市長が、日本の代表として招待されました。

（主な参加者）※敬称略

- ・カナダ：マイク・サヴェッジ（カナダ大都市連盟会長、ハリファックス市長）
- ・フランス：エルmano・サンチェズ・ルイボ（パリ副市長）
- ・ドイツ：ブルクハルト・ユング（ライプツィヒ市長・ドイツ都市会議議長）
- ・イタリア/ユーロシティ：ダリオ・ナルデッラ（フィレンツェ市長・ユーロシティ会長）
- ・日本：林文子（横浜市長・指定都市市長会会長）（市長代理：小林一美横浜副市長）
- ・米国：フランク・カウニー（全米市長会、米国イクレイ理事長、デモイン市長）
- ・オーストラリア：サリー・キャップ（メルボルン市長、オーストラリア州都市市長会）
- ・韓国：ファン・ミョンサン（ノンサン市長、韓国全国市長会会長）
- ・世界市長議会：ペーター・クルツ（世界市長議会議長、マンハイム市長、ドイツ・イクレイ）
- ・イクレイ：ミナ・アルヴェ（イクレイ副会長、フィンランド・トゥルク市長）
- ・世界都市・自治体連合：エミリア・セイズ（事務局長）
- ・英連邦自治体フォーラム：ルーシー・スラック（英連邦自治体フォーラム事務局長代理）
- ・キー・シティーズ・グループ：ジョン・メリー（キー・シティーズ会長、サルフォード市副市長）
- ・コア・シティーズUK：ニック・フォーブス（コア・シティーズUK会長）

2 主な会議の内容

①基調講演「ポストコロナの復興における都市の役割」

ラミア・カマル・チャオウィ（OECD起業家・中小企業・地域・都市センター所長）

②ディスカッション

テーマ：「国・世界経済に貢献する未来の経済に対する都市の役割へのサポート」

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の結果、都市の経済と状況にどのような変化が起きているか、G7の都市は、自国と他の途上国がうまく適応していくために何ができるか。
- ・都市がさらにインクルーシブでより環境重視の経済を築くことを可能にするのは何か、自治権拡大は役立つか。
- ・諸都市はいかに国境を越えて効果的に協力し、COP26における対話を含め共有目標を達成することができるか。

③共同宣言採択 ※添付のとおり

お問合せ先

（会議内容に関すること）温暖化対策統括本部調整課担当課長	宮島 弘樹	Tel 045-671-2336
（指定都市市長会に関すること）政策局大都市制度推進本部室広域行政課長	安形 和倫	Tel 045-671-2108
（英国等との都市間連携に関すること）国際局国際連携課長	関谷 聡	Tel 045-671-4719

FINAL JOINT STATEMENT FROM THE G7 U7 URBAN SUMMIT

We, as Leaders and Mayors of cities across the G7 nations – the ‘Urban 7’ – have come together for the first time, as the G7 national leadership prepares to meet.

Our historic Summit takes place at a moment of extreme challenge resulting from the COVID-19 pandemic, as well as multiple emergencies on climate, nature and social justice, when it has never been more important for local and national governments across nations to work together. In doing so, we want to pay tribute to the outstanding efforts of workers on the front-line across all our cities who have worked tirelessly to combat the pandemic.

We welcome the UK’s G7 Presidency priorities to build back better from Coronavirus by:

- leading the global recovery from coronavirus while strengthening resilience against future pandemics;
- promoting future prosperity by championing free and fair trade;
- tackling climate change and preserving the planet’s biodiversity; and
- championing shared values.

Our cities are, and will remain, major population and economic hubs, critical to driving regional, national and global economies. They are centres of innovation, able to find new ways to adapt and thrive as we emerge from this pandemic. Cities therefore have a leading role in delivering a successful sustainable and inclusive post-Covid future, in a mutually supportive relationship with towns, regions and other places

We want to work with the G7 nations to accelerate their collective leadership, collaboration and solidarity in tackling the pandemic. Yet many of the challenges faced are highly complex and rely on joining up across issues of health, economy, built environment and place-leadership which can only be addressed at the local level.

Our aim in holding this Summit is to establish a local-level dialogue complementary to that of our nations, to support the aims of the G7 and build on the United Nations Sustainable Development Goals, to improve health, economic and environmental resilience and wellbeing for all our citizens.

Cities have been hit hard by the pandemic, but are also the places most capable of driving recovery and renewal, through greener, more inclusive economic growth.

Flows of trade and commerce are largely between cities globally. We can use and strengthen our links to support solidarity, collaboration and trade among our nations.

The majority of carbon emissions globally are from cities. As we approach COP26 to be held this year in the city of Glasgow, our cities are strengthening their commitments and accelerating actions to deliver a zero-carbon economy and 1.5°C compatible lifestyles well before 2050. We urge the G7 nations to work with us, to demonstrate their leadership, enhancing the ambitions in National Climate Action Plans which can only be delivered through multilevel collaboration, and to honour the commitments of the United Nations Paris Agreement on climate change.

As globally-facing cities we all share common values of openness, tolerance and the need to address health inequality and sustainability. By continuing our shared dialogue, we can learn from each other and find new ways to turn these values into action.

We therefore ask our nations to work with us collectively through the following four actions.

1. Set out a clear vision for cities in national plans, recognising their importance to national economic and social wellbeing, and responding to climate and biodiversity emergencies.
2. Draw on the experience of cities in decision making as well as policy making recognising their role as delivery bodies across a wide range of essential services.
3. Provide the appropriate resources, policy environments and flexibilities for cities to support sustainable and inclusive recovery from the pandemic, including the development of innovative financing mechanisms.
4. Incorporate and support city-to-city dialogue as a complementary process to future G7 activity, including with cities in the most vulnerable countries, to enhance global solidarity and collaboration

FINAL JOINT STATEMENT FROM THE G7 U7 URBAN SUMMIT

G7都市会議（U7）共同声明

G7 各国の都市の指導者および市長である我々「G7 都市会議（U7）」は、G7 先進国首脳会議に合わせて、初めて会合の機会を迎えた。

今回の歴史的な G7 都市会議は、COVID-19 という感染症拡大に加え、気候・自然・社会的正義に関する多くの問題が浮上する非常に厳しい状況の中で開かれた。各地域および各国の政府が国境を超えて協力することがこれほど重要な意味を持つことはかつてなかった。こうした協力に際して、我々は、各都市においてこの感染症拡大と闘うために、最前線に立って休みなく働き続けている人々の多大な努力に、敬意を表したい。

我々は、英国の G7 議長国としての「新型コロナウイルス感染症からのより良い復興」という以下の優先課題に心から同意する。：

- 新型コロナウイルス感染症からの世界的な回復を先導しつつ、今後の感染症拡大に備えた強靱性の強化に努める
- 自由かつ公正な貿易を擁護することで、未来の繁栄を促す
- 気候変動に取り組み、地球の生物多様性を守る
- 価値観の共有を推進する

我々の都市は、地域、国および世界の経済を後押しするのに不可欠な人口の集中と経済における重要な拠点であり、今後もそうあり続けるであろう。これらの都市は、今回の感染症拡大から回復するにあたり、我々が適応し、繁栄していくための新たな方法を見出す能力を備えたイノベーションの中心地となる。つまりこれらの都市は、新型コロナウイルス感染症拡大収束後の未来を成功させるにあたり、町、地方、その他の地域との相互支援的な関係の中で、主導的な役割を果たすことになる。

この感染症拡大への対応において、我々は主要各国による協力の加速化に共に取り組んでいきたい。しかし我々が直面する課題の多くは極めて複雑である。地域レベルでしか対処できないような保健衛生や経済、都市環境、地域のリーダーシップなどの問題では、解決の可能性は連携できるか否かにかかっている。

今回の G7 都市会議の目標は、国レベルでの対話を補うべく地域レベルでの対話を確立し、G7 の目標を支援し、国連の持続可能な開発目標に基づいて、保健衛生、経済および環境面での強靱性とすべての住民の福祉を向上させることである。

各都市はこの感染症拡大によって大打撃を受けたが、こうした都市は、より環境に優しくインクルーシブな経済成長を通じて回復と再生を後押しする力が高度に集中する場所でもある。

貿易や商取引の流れの大半は、世界の各都市間でおこなわれている。こうした結びつきを利用し、強化すれば、我々は、各国の意欲的な取引を支援することができる。

世界の炭素排出量の大部分は、都市部からのものである。今年グラスゴーで開催される COP26（第 26 回気候変動枠組条約締結国会議）に向けて、我々すべての都市が低炭素の未来への努力を強化し、2050 年に至る以前にゼロカーボン経済と 1.5°C 目標に合ったライフスタイルの実現に向けアクションを加速させている。我々は G7 各国に対し都市との協力を要請し、その指導力を発揮して、実施に多層的な協力が不可欠である政府の気候アクションプランを拡充し、国連の気候変動抑制パリ協定の合意を守るよう強く訴える。

我々は、世界的な課題に直面している都市として、寛大さ、忍耐、保健衛生と経済面での不平等に対処する必要性という、共通の価値観を有している。我々は、対話を続けることで相互に学び、これらの価値観を行動に移すための新たな方法を見出すことができるだろう。

そこで我々は、以下の 4 つの行動を通じて、各国が一丸となって取り組むことを求める。

1. 国レベルの計画において、国の経済と社会的健全性における都市の重要性を認識し、気候と生物多様性に対する危機に対応して、都市に向けた明確なビジョンを定める。
2. 必須サービスを広く提供する機関としての都市の役割を認識し、意思決定および政策立案において、各都市の経験を活用する。
3. 革新的な資金調達メカニズムの開発を含め、各都市が感染症拡大から持続可能かつインクルーシブな回復を支援できるよう、都市に適切なリソース、政策環境、適応力を与える。
4. 今後の G7 活動の一環として、最も脆弱な国々の都市を含め、都市間の対話を組み込み、支援する